

北部中学校の ESD 活動

〈活動の概要〉

・当校は、校訓「為せば成る Let's try!」を合い言葉に、自らを高め社会に貢献できる輝く人材の育成を大きな目標に教育活動を進めている。ESD活動を「郷土を愛し、地域に貢献する北中健児の姿を実現する場」と捉え、ESDを通して自ら考え行動する資質と能力の育成を目ざしている。具体的には、①環境保全に係わる活動、②地域文化に係わる活動、③福祉に係わる活動を行っているが、今年度も新型コロナウイルス感染拡大防止のため、これまでの活動を行うことはできなかった。そこで新たな活動も取り入れ、今後も感染防止の新しい生活スタイルでも実施可能な社会に貢献する活動を生徒とともに作り上げている。

・活動の実際

① 環境保全に関わる学習（美化ボランティア）

本校ではこれまで1年生が小学生とともに地域の清掃活動に取り組んできたが、新型コロナウイルス感染流行により実施を停止している。昨年度からは校内での美化活動にとどめて、北中ボランティアとして希望者を募集し全校での取り組みを始めた。これまで、5月に「プール掃除隊」「草むしり隊」「花の種まき隊」、10月「北中祭準備・片づけ隊」、11月「花壇整備隊」など季節ごとに参加者を集め活動している。活動後の感想には、「活動場所がきれいになったのを見てやって良かったと感じた」「プールの壁を何度もこすって大変だったけど、やり終えて満足している」「花壇の花が咲いてうれしかった」などの記載があり、校内の美化に役立っているだけで



なく、動植物を慈しむ活動などの成果を感じとることができている。この活動を「北中ボラン」として得点化し貢献度の高い生徒を表彰していく。

② 地域文化に関わる活動（部活動）

音楽部を中心に地域の祭礼や成人式や敬老会、市民館まつりなどの地域行事に参加し、本地域の伝統芸能でもある「かわきた太鼓」の流れをくむ和太鼓や篠笛の演奏をしている。今年度も一部の限られた機会であったが演奏することができ、地域行事の主催者や鑑賞された方々からも「勇壮な太鼓の演奏で会場が盛り上がる」と好評を得ることができた。



③ 福祉に関わる活動（老人ホームボランティア）

夏休み・冬休みの長期休業中を使い、希望者が校区にある2か所の老人ホームに出かけ、ボランティア活動に取り組んできた。これまでは夏休みと冬休みを合わせて毎年100名近くの生徒が自主的に参加し、意欲的に福祉活動に取り組んだが、昨年度と本年度は、新型コロナウイルス感染を広げないため、活動を自粛している。

